

グループワーク
もあります！

～親と子だけの問題なの？～ みんなで考えよう ひきこもるということ

今回の研修は、ひきこもり支援の実践者である明石 紀久男氏を講師としてお招きし、ひきこもりについて理解を深めていただくために企画しました。ひきこもりを当事者だけの課題ではなく、地域の課題としてとらえ、支え合っていく地域づくりを考えることは、相談支援に従事している方、精神障害者支援の方だけでなく、あらゆる分野の方にとって有意義なことであると思います。

ひきこもり支援は、当事者の状況を肯定し、尊重することから始まります。時には自分自身に置き換えて支援を考えることも重要です。想像力を働かせて討論するグループワークも行います。

参加された方にとって、必ず新しい気づきがあると思います。申し込みをお待ちしております。

参加費無料

《日 時》 令和7年9月5日(金) 13時30分～15時30分
《場 所》 障害者支援センター松が丘園 3階研修室

定員 25 名
先着順



【講師】

明石 紀久男 (あかし きくお)
特定非営利活動法人 遊悠楽舎 代表理事
社会福祉法人きしろ社会事業会 理事
1950年生まれ

1998年から「不登校児童やひきこもり者」とその家族の相談を始め、2001年からフリースペース遊悠楽舎を開設。子どもや青年、その家族と時間と空間をともにして来た。

2008年から横浜市の若者支援施設で居場所づくりと相談員を務め、2011年に始まった内閣府のモデル事業・パーソナルサポートサービス(横浜市)に参加。その後設立された一般社団法人インクルージョンネットかながわで代表理事も務めた。

2015年度から鎌倉市の生活困窮者自立相談支援事業「インクル相談室・鎌倉」の主任相談員を務め、2016年度からは鎌倉市の生活困窮者学習支援事業も受託し「space ぷらっと大船」を開設(子どもたちの学習支援・居場所と同時に食事の提供など)し、管理責任者を務めてきた。

現在は鎌倉市にて、ひきこもり支援指導員(2022年度より)、「子ども家庭センター」と「女性のための相談窓口」のスーパーバイザー(2024年度より)、同社会福祉協議会の「重層的相談支援体制整備事業」アドバイザー、社会福祉法人きしろ社会事業会理事を務める。

心理カウンセラーであり、孤立して(させられて)いる家族全体を幅広く応援するソーシャルワーカーとして活動を続けている。

2021年3月「親をおりる」(彩流社)を出版。



内容紹介

ひきこもり問題のベテラン相談員が、親や相談員に今伝えたいこと。親の立場や役割を手離し、親を降りて、個人に、ひとりの人間に、戻る必要がある。そうすることで息子や娘も個人として、一人の人間として自律していけるのだ。

出版年月日: 2021/03/16 判型・ページ数: 4・6・120ページ

定価: 1,760円(税込)

研修内容の詳細および申込みは裏面(次ページ)をご覧ください

～親と子だけの問題なの？～
みんなで考えよう ひきこもるということ

研修内容 詳細

《講師》 明石 紀久男 氏

《日時》 令和7年9月5日（金） 13時30分～15時30分

《場所》 障害者支援センター松が丘園 3階研修室

《内容》

● 前半（講義）

ひきこもるということについて、理解を深める

● 後半（グループワーク）

参加者による討論 ※経験問わずお気軽に参加できます

参加費無料

《対象者》

- ・相模原市内の障害福祉サービス事業所の職員
- ・相模原市内在住で市外の福祉サービス事業所等職員
- ・相模原市内在住もしくは在勤の障害児者に関わる関係者等

《申込締切》 令和7年8月29日（金）

下記の URL・2次元コードから、受付フォームにご入力ください。

<https://sagamihara-shafuku.online/study/forms/f3.html>

※申し込みフォームから、明石先生への事前質問を受け付けております。
質問だけでなく、日々の支援の中で困っていることなどを記入していただいても構いません。



研修一覧 2次元コード

☆問い合わせ先☆

相模原市立障害者支援センター松が丘園

TEL:042-758-2121(ガイダンス後 2番)

担当:加藤・天野

【主催】社会福祉法人相模原市社会福祉事業団